

原ゆうじ市政報告 VOL.70

TEL:070-5540-9565 メールアドレス yuji.hara88@gmail.com

ブログも好評配信中！ 公式 HP:hara88.mobi 発行元:松戸市上本郷905



(原ゆうじのプロフィール)
1965 年松戸生まれ 上本郷小、六
中、立教高校、立教大学理学部化学
科卒。長瀬産業(商社)勤務を経て
現在、ベーカリー店経営
H22 年市議初当選、現在 3 期目
妻、4 子(3 男 1 女)の 6 人家族

松戸市議会議員原ゆうじ市政レポート税金の無駄遣いは許さない！ 2年夏号

コロナ終息への切り札！松戸市よ、 フランスで実績 & フランス政府から表彰された！ PSS 社製(本社:松戸) 自動検査装置導入で PCR 検査の拡充を！

今こそ、PCR 検査拡充で自治体の最先端を松戸市は目指すべきだ！

松戸に本社を置く **プレジジョン・システム・サイエンス(PSS)株式会社**(本社:上本郷 88)とは？

マザーズ上場企業。遺伝子検査、**タンパク質**検査などの

(PSS 社の自動検査装置) ↓

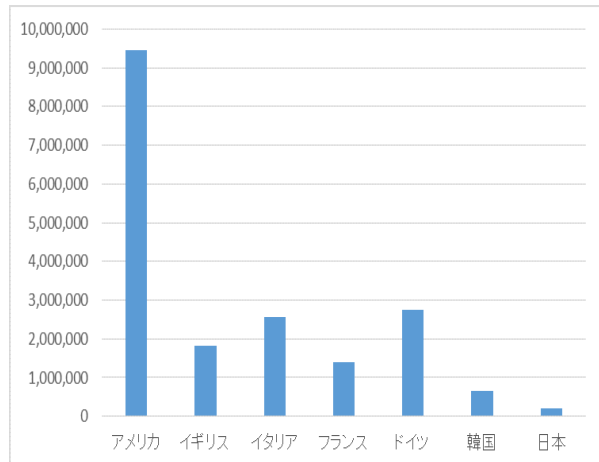
体外診断(IVD)における研究開発や、その実用化で用いられる自動化装置、ソフトウェアなどの開発

及び製造を行う今、注目の会社です。

世界の最先端を行く会社が松戸に！ PSS 社はコロナウィルス感染の陰性・陽性を調べる PCR 検査で、検査が早く、検査中の感染リスクもほぼない**自動検査装置を開発**。すでに欧州を中心に販売、そして、その社会的貢献が認められ、4 月にはなんと！**仏駐日大使から礼状を受領**しています。

そして現在、厚労省に保険等の認可申請中で、その際のテストでは陰性、陽性とも整合率 100%であったと伝えられています。

極端に低い日本！一向に PCR 検査が進まない現状！！



(表1 検査数(人数または実施検査数)2020年5月10日)

左表は各国のPCR検査数を示したグラフですが、日本の検査数は極端に少なくなっています。

厚労省のHPによると、6月27日現在、人口10万人当たり、357.3人(全国平均)、千葉県平均は285人となっています。

コロナの完全な終息には、ワクチンや特効薬の開発がもちろん必要ですが、その開発は早くても来年以降となりそうです。ではそれまでどうしたら？やはり、感染者の発見、とりわけ**無症状の感染者をいかにして見つけるか！**が重要なはず。

そのためには検査の数を増やす必要があり、また、医療崩壊を防ぐためにも介護関係従事者や医療関係者(エッセンシャルワーカー)の方から検査を受けられるようにしなければなりません！

検査はなぜ進まない？検査の拡充を妨げる課題とは？

PCR 検査の拡充には様々な課題があるのも事実です。現状での考えられる課題とは ①検査従事者の人材不足

②検査時の二次感染 ③検査機関のキャパシティ不足 ④費用の課題などが挙げられると思います。

こうした課題をどう克服するか？ それは松戸市として出来るものなのか？ (裏面に続く、……)

検査拡充！出来るのは松戸だ！

地元企業とタイアップを！装置導入で課題解決！

自動検査装置の導入！（解決策①）

PCR 検査の課題解決には、PCR 自動検査装置の導入は不可欠です。地元企業とのタイアップで市が導入をすれば、**人の手によらない検査となるので、人出不足問題の解消、検査時の感染リスクも低減**。又、検査時間（2 時間程度で判定）短縮により多くの検査数も可能となるはずです。

解決策②唾液検査の実施（保険適用済み）従来の鼻孔からの検体採取から、検査者本人でも採取できる唾液検査に変えることで、人出不足の解消、感染のリスクが低減出来ます。

解決策③ブレンドテスト*注 1 の実施 より多くの対象者の検査が可能となり、検査に係る人材不足問題、費用問題の解消につながります。こうして推定陽性者の割り出しを行い、その後、PCR 再検査、病原、抗体検査等をさらにを行い、コロナ感染者発見の可能となります。この方法であれば、PCR 検査の拡充も現実になるのではと思います。

カギは自動検査装置の導入です。その実績ある開発メーカーが松戸にある！松戸が他に先駆けやるべきです！

（注 1）ブレンドテストとは？

複数の検体を混ぜ合わせて 1 つの検体として検査する方法で、**中国武漢市で実際に行われた**。

武漢市では最大 10 人の検体を混ぜ合わせて PCR 検査を実施、そして、陽性が出た検体に該当する 10 人を個別に再検査し感染者を特定した。

この方法で、5 月 14～23 日の 10 日間で約 660 万人市民の検査を実施、結果、**無症状病原体保有者** 189 例の発見に成功した。

PCR 自動検査
装置の導入



ブレンドテスト等
で PCR 検査実施



無症状感染者の発見 &
感染防止対策の実施



コロナ第 2 波感染
防止 & 終息へ！？

市税収入は落ち込まない！予算見直しはしない！市に危機感はあるのか？市の姿勢に疑問

6 月議会では、コロナの影響による市税収入の今後の見込みを聞き、併せて、予算、事業に見直しを行い、コロナ対応に全力を注ぐべきでは？と市に問いいただきました。しかし、市の答えに唖然、、なんと市の答えは、、

「市税収入は大きくは落ち込まない」と、だから「予算、事業の見直し考えていない」ときっぱり！

けど、本当でしょうか？経済の先行きについて、3 月 19 日の経済再生担当大臣による記者会見では「コロナ関連の経済への影響は大きく、リーマンショック並みかそれ以上になるかもしれない」としています。リーマンショック時の 2010 年、6.3 億円、翌年は 18.5 億円と大きく市税収入は減少しました。市の危機感の無さにびっくりです！

なぜ、「市税収入は落ちない」と答えた？市の本音は、コロナ対策よりも大型事業？

松戸市よりも収入の多い市川市でさえ、今回のコロナ対策費用捻出のため予算の見直しを行いました。当然、松戸市でも**不急の事業**を見つけ出し、来年度以降に先送りし、そうして捻出した財源で、さらなるコロナ対策を緊急時の今こそ実施すべきです。この期に及んで「収入は落ち込まない。」とあえてなぜ松戸市は答えたのか？それは、市税収入が落ち込むと答えると、莫大な費用の大型事業見直しを考えざるを得なくなってしまうから。つまり、市の本音は**コロナ対策よりも新松戸開発などの大型事業のほうが優先？** こうした**市の姿勢は本当に疑問です！**

原ゆうじの訴え！ 今はコロナ対策に市は全力で臨むべきと考えます。そのために予算の見直しを行い、そうして捻出した財源で、松戸の会社、PSS 社が作る PCR 自動検査装置を購入、他の自治体に先駆けて PCR 検査の拡充を図り、第 2 波第 3 波に備えるとともに、最終的にコロナ終息を目指すべき！と、6 月議会で訴えました。

この原ゆうじの訴えがあつてか？市長はその後、PSS 社を訪問しました。さて、どうなるのか？今後の市の動向に注目です。大型事業か人の命にかかわるコロナ対策か、答えは決まっています！今後も全力で訴えてまいります！